



KeySQL for Microsoft Windows

リリース・ノート

リリース 7.0

2023年10月

目次

動作環境.....	3
インストール・アンインストールに関して.....	5
旧版、早期アクセス版からの移行の場合.....	5
アプリケーションへKeySQL起動モジュールの追加.....	5
Excel 2003以前のバージョンをご使用の場合.....	5
KeySQL Administratorのインストール.....	5
アンインストール.....	6
KeySQL R6.2 からの変更点および互換性について.....	7
変更履歴.....	8
R6.1 からR6.2 への変更点および互換性について.....	8
R6.0 からR6.1 への変更点および互換性について.....	9
R5.1 からR6.0 への変更点および互換性について.....	9
R5.0 からR5.1 への変更点および互換性について.....	10
R4.2 からR5.0 への変更点および互換性について.....	11
バージョン3.X からR4.X への変更点および互換性について.....	12
バージョン 2.5からバージョン3.Xへの変更点および互換性について.....	15

動作環境

ソフトウェア

オペレーティングシステム :

Windows 2000、Windows XP Professional、Windows Server 2003、Windows Server 2003 R2、Windows Vista Business/Enterprise/Ultimate、Windows Server 2008、Windows 7、Windows Server 2008 R2、Windows 8/8.1、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows 11、Windows Server 2022

データベース :

- ・ IBM DB2 Universal Database (CLI)
- ・ Microsoft SQL Server (ODBC)
- ・ Oracle Database (OCI)
- ・ Oracle Database (ODBC)
- ・ Informix Dynamic Server (ODBC)
- ・ 汎用 ODBC

各種データベースにアクセスする場合には、各種データベース用のクライアントソフトや ODBC が必要となります (32bit)。これらはご利用の OS に依存しますので、対応製品の詳細については各 RDBMS 製品のシステム要件をご確認ください。

KeySQL 7 では、表結合で発行される SQL は外部結合演算子(+)を使用したものに限り、JOIN 句による結合を行うためには、SQL を手動で修正した上で SQL ダイレクト実行画面にて実行する必要があります。

アプリケーション :

- ・ Microsoft Excel
Excel 2000、Excel 2002、Excel 2003、Excel 2007、Excel 2010、Excel 2013、Excel 2016、Excel 2019、Excel 2021
デスクトップ版のみ対応。プレインストール版 Office ストアアプリでは、「アプリと機能」画面に「Microsoft Office Desktop Apps」と表示されます
- ・ OpenOffice.org 3.x Calc
- ・ Apache OpenOffice 3.x / 4.x Calc
- ・ CSV ファイル
- ・ HTML ファイル

VBA、Calc Basic マクロを使用する場合は、32bit 版のアプリケーションが必要です。

ハードウェア

メモリ :

オペレーティングシステムやアプリケーション等で使用するメモリとは別に、KeySQL 用に 64MB 以上の空きメモリ容量が必要（必要な空きメモリ容量は扱うデータ量に応じて異なります）

ディスク :

20MB 以上の空きハードディスク容量
(使用されるハードディスク容量は設定に応じて異なります)

以上

以前はヘルプ参照のために Internet Explorer, Edge の記載がありました。が、Internet Explorer, Edge を削除または無効化した環境でもヘルプの参照が可能なが確認できたため、記載を削除しております。

インストール・アンインストールに関して

Windows の Administrator 権限を持つユーザーでインストールを行うと、KeySQL R7.0 をインストールしたコンピュータ上の全ローカルユーザーで利用する事が可能です。

インストーラの実行前に、Microsoft Excel および OpenOffice.org(クイック起動を含む)が起動していないことを確認して下さい。

旧版、早期アクセス版からの移行の場合

1. KeySQL R7.0 のインストール前に既存の MAC ファイルと VBA ファイルのバックアップを行ってください。
KeySQL のインストール時にマクロファイルが消去されてしまう可能性があります。
2. 旧版、早期アクセス版の KeySQL をアンインストールしてください。
3. 再起動後に KeySQL R7.0 のインストールを行ってください。
インストール自体はインストーラの指示に従って行ってください。
4. KeySQL R7.0 のインストール終了後に 1.でバックアップを行った MAC ファイル等、ご利用のホームディレクトリ等に配置してください。

アプリケーションへ KeySQL 起動モジュールの追加

インストール時のセットアップタイプを「カスタム」にし、機能の選択ダイアログにて、「貼り付け先アプリケーション」の使用アプリケーションで「KeySQL 起動のアドイン（またはアドオン）」にチェックを入れますと、アプリケーションへ KeySQL 起動ツールバーが追加されます。 KeySQL アイコンをクリックすることにより、KeySQL が起動されます。

Excel 2003 以前のバージョンをご使用の場合

Excel は、バージョン 2003 以前と 2007 以後で行数・列数等の上限が引き上げられています。

KeySQL 7.0.11.1 以前のバージョンでは、どちらの Excel を使用しても正常に動作するよう自動的に Excel のバージョンをチェックしていましたが、このチェックには、KeySQL 起動時に Excel が KeySQL からアクセス可能でなくてはならない制約がありました。

KeySQL 7.0.11.2 以後のバージョンでは Excel 2007 以後のバージョンを前提として動作します。

Excel 2003 以前のバージョンをご使用の際には、KeySQL インストールフォルダーにある「Pexcel2003.ini」を「Pexcel2007.ini」にリネームしてご利用ください。

KeySQL Administrator のインストール

インストール時のセットアップタイプを「カスタム」にし、機能の選択ダイアログにて、「接続先データベース」の「Oracle(OCI 接続)」で「KeySQL Administrator」にチェックを入れますと、KeySQL マクロ・スプレッドシートの共有や、設定の集中管理を行なう、KeySQL Administrator がインストールされます（Oracle(OCI 接続)でのみ使用可能です）。

アンインストール

コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」、「プログラムと機能」もしくは、「アプリケーションの追加と削除」から KeySQL を選択し、削除してください。

KeySQL R6.2 からの変更点および互換性について

新機能と変更点

- 1) OpenOffice.org Calc に対応
OpenOffice.org Calc への貼り付けとデータベースの更新、OpenOffice.org Basic マクロの入出力に対応しました。
- 2) Microsoft Excel との通信方法を変更
DDE とクリップボードで行っていた Excel との通信を、COM で行うように変更しました。
- 3) 接続可能なデータベースの変更
Oracle(OCI/ODBC)、SQL Server、DB2、Informix、汎用 ODBC での接続が可能です。

互換性

マクロ生成の仕様変更

生成可能なマクロが以下の構成に変更になりました。

- ・ Excel 用 VBA マクロ (従来のダイレクトコールマクロ)
- ・ OOO Calc 用 OOO Basic マクロ
- ・ KeySQL マクロ

KeySQL MAC マクロファイル

V3.X 以降で作成したマクロファイルは、変更せずに動作させることが可能です。

Excel VBA マクロプログラム

V3.X 以降で作成したマクロプログラムについて、作成時に「KeySQL を起動する」を選択したマクロは KeySQL 7.0.11.2 以後のバージョンでは使用することができます。

KeySQL 7.0.11.1 以前のバージョンでは使用できません。

以下の部分を削除して、KeySQL をあらかじめ起動した状態で実行してください。

例 : Call Shell("C:¥Program Files¥Tenik¥KeySQL for ORACLE¥Keysql.exe", 4)

コマンドラインオプション

コマンドラインオプションの機能は削除されています。

表一覧の取得方法を変更する場合はテーブルグループ機能をご使用ください。

変更履歴

R6.1 から R6.2 への変更点および互換性について

新機能

- 4) Windows Server 2008 をサポート
Windows Server 2008 に対応しました。
- 5) 64bit 対応
64bit(WOW64)に対応しました。

修正内容

- 1) データ型の変更
KeySQL Administrator が作成する「KEYSQL_MEMBER.DATA」のデータ型を LONG 型から LONG RAW 型へ変更しました。
KeySQL R6.1 を使用してこの表を作成している場合、項目：DATA のデータ型を変更する必要があります。
- 2) KeySQL Administrator によるインポート
KeySQL Administrator と KeySQL との間でインポート・エクスポートする各種データの量は、最大で 512KB までをサポートします。
- 3) SQL 文の最大長の変更
KeySQL で扱える SQL 文の最大長を 256KB に変更しました。

互換性

KeySQL MAC マクロファイル

V3.X 以降で作成したマクロファイルは、変更せずに動作させることが可能です。

Excel VBA マクロプログラム

V3.X 以降で作成したマクロプログラムは、変更せずに動作させることが可能です。

R6.0 から R6.1 への変更点および互換性について

新機能

- 1) Excel 2007 をサポート
- 2) Windows Vista 対応
- 3) Internet Explorer 7 対応
- 4) Oracle Database 11g (11.1.0)対応
- 5) Excel シート管理（検索更新版のみ）
KeySQL Administrator を使って Excel シートを管理できます。
KeySQL マクロと同じように権限の付与が可能です、KeySQL から使用できます。
- 6) KeySQL Administrator との連携
管理された Excel シートを使用できます。

R5.1 から R6.0 への変更点および互換性について

新機能

- ・ KeySQL Administrator の追加（検索更新版のみ）
 - 1) ユーザ・グループ管理
KeySQL を使用する Oracle ユーザの作成、グループ化を行なうことができます。
 - 2) EUL ビュー管理
KeySQL（検索更新版）を使用して作成した EUL ビューの整理や権限の付与を行なうことができます。
管理された EUL ビューは KeySQL から使用することが可能です。
 - 3) KeySQL マクロ管理
KeySQL マクロの整理や権限の付与を行なうことができます。
管理された KeySQL マクロは KeySQL から使用することが可能です。
 - 4) 各種設定管理
テーブルグループ、オーナーグループ、表結合候補、ローカル別名等の、
KeySQL を使用して作成した設定をデータベースに集中管理することができます。
集中管理された各種設定は KeySQL からインポートすることにより使用します。
- ・ EUL ビューの作成（検索更新版のみ）
 - 1) KeySQL を使用して作成した SQL 文から、EUL ビューを作成することができます。
 - 2) 作成した EUL ビューは KeySQL Administrator で管理することにより、
KeySQL から使用することが可能です。

- ・ KeySQL Administrator との連携
 - 1) EUL ビューを使用することができます。
 - 2) KeySQL マクロの使用することができます。
 - 3) テーブルグループ、オーナーグループ、表結合候補、ローカル別名を、データベースからインポートすることができます。

- ・ クロス集計の強化
 - 1) 検索結果が表示される GUI に変更されました。
 - 2) 集計項目の貼り付け形式を追加しました。
 - 3) 表頭項目の複数設定に対応しました。

- ・ ピボット貼り付けの追加
クロス集計で行なった設定をエクセルへピボットテーブルとして貼り付ける機能を追加しました。

- ・ 日付型の簡易設定
日付型の単位（年、月、四半期など）を簡易に設定する機能を追加しました。

- ・ テーブル一覧リフレッシュ機能の追加
データベースオブジェクトを再取得する機能を追加しました。

互換性

KeySQL MAC マクロファイル

V3.X 以降で作成したマクロファイルは、変更せずに動作させることが可能です。

Excel VBA マクロプログラム

V3.X 以降で作成したマクロプログラムは、変更せずに動作させることが可能です。

R5.0 から R5.1 への変更点および互換性について

新機能

- ・ ルック・アンド・フィールドの改善
 - 1) データの貼り付け先ブックとシート名の指定を、リストから選択可能になりました。
 - 2) ワークスペース上の表同士のリレーションを色線で表示に対応しました。
 - 3) 初回起動時のアプリケーション（Excel）登録を自動化しました。

- 4) ローカル別名の設定がプロパティウィンドウからも可能になりました。
- 5) 各設定画面に、設定をデフォルトへ戻すボタンを追加しました。

・プレビュー機能の強化

- 1) プレビュー画面からの更新機能を追加しました。
- 2) セルを検索条件リストへドラッグ&ドロップしますと、カラム名と値を同時に設定するようになりました。
- 3) プレビュー画面でのデータの並び替えが可能になりました。
- 4) 重複なしの値一覧を表示する「カラムプレビュー」機能を追加しました。

・KeySQL マクロ・Excel マクロの強化

- 1) KeySQL の出力する VBA マクロにコメントを出力するオプションを追加しました。
- 2) 接続時にログインダイアログを表示するマクロの出力オプションを追加しました。
- 3) ローカル別名を使用するか、実名を使用するかの選択に対応しました。

・操作チュートリアルの追加

- 1) Viewlet を使用した動画チュートリアルを用意しました。
- 2) KeySQL の初回起動時、スタートアップ画面を表示することに対応しました。

・SQL・Oracle 新機能への対応

- 1) 10g からの新機能である「フラッシュバックテーブル」に対応しました。
- 2) インラインビューに対応しました。
- 3) NCHAR 型、NVARCHAR 型に対応しました。(注 1)
(注 1—Oracle8i は検索条件の無い検索のみ対応)

互換性

KeySQL MAC マクロファイル

V3.X 以降で作成したマクロファイルは、変更せずに動作させることが可能です。

Excel VBA マクロプログラム

V3.X 以降で作成したマクロプログラムは、変更せずに動作させることが可能です。

R4.2 から R5.0 への変更点および互換性について

新規機能

- 1) Excel2003 をサポート
Excel2003 を対応アプリケーションに追加しました。

- 2) TIMESTAMP データ型をサポート
TIMESTAMP データ型に対応しました。
- 3) INTERVAL データ型をサポート
INTERVAL データ型に対応しました。
- 4) Excel から KeySQL を起動
インストール時に「Excel 起動」を選択しますと
Excel へ KeySQL 起動アイコンが追加されます。

修正内容

- 1) 無検索更新が失敗する不具合を修正しました。
- 2) 改行コードの含まれる値を Excel へ貼り付け時に表示が乱れる不具合に対応しました。

互換性

KeySQL MAC マクロファイル

V3.X 以降で作成したマクロファイルは、変更せずに動作させることが可能です。

Excel VBA マクロプログラム

V3.X 以降で作成したマクロプログラムは、変更せずに動作させることが可能です。

バージョン 3.X から R4.X への変更点および互換性について

新規機能

- 1) Excel2000 をサポート
Excel2000 を対応アプリケーションに追加しました。
- 2) OS 認証のサポート
OS 認証の機能を使用してログインすることができます。
ログイン画面での設は以下の通りです。
ユーザ名 : (何も記述しない)
パスワード : (何も記述しない)
ホスト : TNSNAME
- 3) パスワード有効期限のサポート
ログインする際に、パスワードの有効期限が設定されている場合をサポートしました。
- 4) ユーザ・インタフェースの改変
メイン画面内のボタンをフラット化しました。

- 5) Windows2000 対応
Windows2000 に対応しました。
- 6) マルチユーザー対応
Windows の Administrator 権限で KeySQL R4.2 をインストールして頂くと、マシン上にアカウントの存在する全ユーザーが利用する事が出来ます。
- 7) Terminal Service 対応
MS Windows の Terminal Service に対応しました。

変更点

- 1) 表結合条件候補のユーザ登録
表結合を行う際、表結合参照候補から除外したい項目を登録しておくことができます。また、表結合参照候補に表示されない項目を新たに登録することができます。
- 2) 非表結合検索時のワーニング表示
検索対象列を複数のテーブルから選択した場合、検索処理を行う前に表結合の有無を確認し、表結合指定がされていない場合はワーニングを表示します。
- 3) HTML ファイル生成
アプリケーション登録に、新たに HTML 形式ファイル出力がサポートされました。
- 4) CSV ファイル生成
アプリケーション登録に、新たに CSV 形式ファイル出力がサポートされました。
- 5) エグゼキュートマクロの自動生成
メイン画面上での設定内容でエグゼキュートマクロがジェネレートできるようになりました。
- 6) 関数ウィザード
検索列や検索条件内で、データベース側に用意されている関数を簡単に設定できるように、関数ウィザードを搭載しました。
- 7) SQL 確認画面
KeySQL がデータベースに対して実行する SQL 文を事前に確認できるプレビューがサポートされました。
- 8) ダイレクト更新/削除のサポート
更新/削除を行う際、検索結果を使用せずに処理を行うモードがサポートされました。このモードを使用することにより、更新/削除を行う場合の事前検索が不要になります。

- 9) 表および列のローカル別名設定
ログイン後に表示される表および列に対して、ローカルに別名を設定できるようになりました。

- 10) コミット実行制御
更新系の処理を行う際、メイン画面およびマクロから任意のタイミングでコミットが行えるようになりました。

- 11) ダイレクトコール（アドイン）のサポート
マクロから使用可能な、Excel 97 用のダイレクトコール・モジュールがサポートされました。

- 12) 一括更新／追加／削除
更新系の処理を行う際、クリップボードのサイズを意識せずに処理ができるようになりました。

修正内容

- 1) エイリアスに日本語を付けた場合、SQL 表示されない不具合を修正しました。

- 2) "ローカル別名 - 列別名の設定 - 列別名の編集"画面にて"列別名","列実名"をクリックすると、アプリケーションエラーが発生する不具合を修正しました。

- 3) 登録されている表結合候補の除外候補を削除すると、表結合候補が全て表示されない不具合を修正しました。

- 4) 副問い合わせ中に Having 句を利用したクエリをマクロに保存し、再実行しようとする、マクロの読み込みでエラーが発生して実行することができない問題を修正しました。

- 5) 検索条件に"(EMP.SAL+EMP.SAL)* 2 > 0" のように条件文に()を設定したクエリをマクロに保存し、再実行しようとする、マクロの読み込みでエラーが発生し実行することができない問題を修正しました。

- 6) テーブルグループ編集画面の表示が、全角、半角の混ざったユーザ名の時に異常となる問題を修正しました。

- 7) セルデータ長の変更
KeySQL で扱えるデータ長を 4000 バイトに修正しました。

- 8) エクセル張付けエラーに対応
エクセル張付け時に発生したクリップボードエラーに対応しました。
但し、KeySQL がクリップボード経由でエクセルに張付けを行っている際に、

Ctrl-C等のクリップボードを利用するオペレーションを、
別アプリケーションやユーザが行った場合はエラーの発生する場合があります。

互換性

KeySQL マクロ 及び VBA マクロ

V3.X以降のKeySQLで作成したマクロプログラムは、変更せずに動作させることが可能です。

バージョン 2.5 からバージョン 3.X への変更点および互換性について

1) Excel 接続時のアドインモードの廃止

Excel 接続時に選択可能であったアドインモードでのログインが廃止されました。
新たに、ダイレクトコール・モジュールが追加されましたが、Excel マクロからの利用のみが可能となっています。

2) Excel VBA マクロプログラム

V2.5をExcel 5.0マクロプログラムから使用していた場合、Excel VBA マクロに次の変更が必要です。

KeySQL への DDE 接続先トピックを"SYSTEM"に変更する。

例：V2.5：Cn = DDEInitiate("KEYSQL","EXECUTE")

V3.X：Cn = DDEInitiate("KEYSQL","SYSTEM")

KeySQL への DDE コマンドをブラケット（カギ括弧[]）で囲む。

例：V2.5：Cn = DDEExecute(Cn,"Fetch()")

V3.X：Cn = DDEExecute(Cn,"[Fetch()]")

ダイレクト SQL コマンド"ExecSQL"を"KeyExecSQL"に変更する。

例：V2.5：Cn = DDEExecute(Cn,"ExecSQL("""SQL 文""",...)")

V3.X：Cn = DDEExecute(Cn,"[KeyExecSQL("""SQL 文""",...)]")

※ V3.X以降でマクロ生成を行った場合は、上記変更点を盛り込んだものが生成されます。

※ KeySQL マクロファイル（拡張子.MAC）に関しての変更はありません。

3) テーブルグループ編集および選択

テーブルグループ編集および選択機能は、メインシートを全て閉じた状態でないと使用できなくなりました。

4) フォント設定

フォント設定機能は、ログイン前でなければ使用できなくなりました。

- 5) 項目一覧からの複数ドラッグ
メインモードの項目一覧から複数の項目を一度にドラッグすることができなくなりました。